

CONCENT

株式会社コンセントのご紹介

/ INTRODUCTION /

デザインも、キャリアも、 可能性は形を変えて広がり続ける

私たちは、社会や時代の変化に目を向け、自らを常にアップデートし続けます。

可能性を限定せずに、さまざまなデザイン領域に取り組んでいくこと、

デザインの新たな役割を提案していくこと、

そして、その主役であり実践者である社員一人ひとりが自分のキャリアをひらいていくこと。

それらが、社会をより豊かに、創造的にしていくことにつながると考えています。

| MISSION |

デザインでひらく、 デザインをひらく

コンセントは創業から一貫して、デザインの社会適用を模索してきました。

プロフェッショナルとして新しいデザイン領域をつくること。

これはビジネスとして成立させること、すなわち社会の生態系において

正しくデザイナーの役割を定義づけることだと思っています。

デザインで社会をひらき、デザイン自体の可能性もひらいていきたい、

これが私たちコンセントのビジョンです。

OUR DESIGN

社会や組織の課題に対し デザインでひらき デザイン自体のあり方もひらいていく

複雑な社会全体をどうとらえて、どのように問題を解決に導くのか。

社会や時代の変化と共に、デザインに求められること、
できることが広がっています。

私たちは、社会をより豊かに、そして創造的にしていくために、
デザインの価値や新たな可能性を常に模索し続けています。

| HISTORY |

コンセントの変遷

私たちは長い歴史と共に変化し、
デザインの価値や可能性をひらいてきました。

2012年 | エディトリアルデザイン×情報デザイン&体験デザイン×
事業・組織のデザイン

2002年 | エディトリアルデザイン×
情報デザイン & 体験デザイン

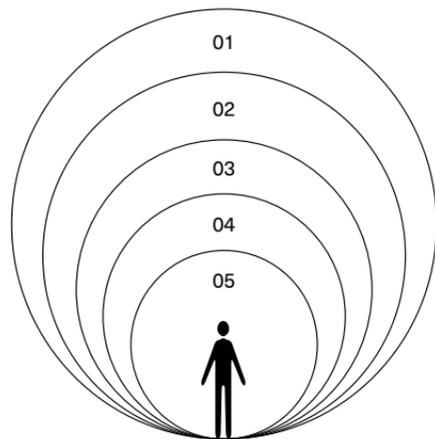
1973年 | エディトリアルデザイン

| SOLUTION |

コンセントのソリューション

企業・組織の問題に 「サービスデザイン」による解決を

サービスデザインとは、「顧客・生活者の価値や体験を起点に、ビジネスモデル・組織・業務・顧客接点を包括的に設計する」手法です。クライアントの経営、事業やサービス、従業員体験、その先にいる顧客の体験、顧客接点の構築に至るまで、幅広い領域を包括的にデザインします。



【コンセントの事業領域】

- | | | |
|----|-----------|-----------------------------|
| 01 | デザイン経営の強化 | デザイン経営支援 / ブランディング支援 |
| 02 | 事業開発・成長支援 | 事業開発支援 / デジタルマーケティング支援 |
| 03 | 組織・業務構築支援 | デザインガバナンス構築支援 / デザイン思考組織化支援 |
| 04 | 顧客体験の構築支援 | デジタルプロダクト開発支援 / UX コンサルティング |
| 05 | 顧客接点の構築 | メディア・コンテンツ開発 / クリエイティブ開発 |

| STANCE |

デザインに対する姿勢

私たちは人・企業・社会と伴走します。

これが私たちが

デザインに向き合う姿勢であり、

クライアントへの約束です。

伴走するデザイン

私たちは伴走します。社会や時代と。

私たちは伴走します。企業、組織、人、プロジェクトと。

社会や時代の流れを肌で感じながら、組織に、事業に、新しいカタチを与えていきたい。

これが、デザイン会社コンセントの願いです。

私たちが寄り添う企業は、時代に合わせて常に挑戦が求められます。

私たちは勇敢なクライアントの一步後ろに下がって支えたり、

時には、一步前に出てペースメーカーや風除け役を務めます。

そして新しい挑戦をカタチで示します。

驚きを社会の常識に変えていきます。

理解、情熱、勇気、予測、ケア。

こうした目に見えない能力と感情を大事にしながら、

コンセントは、伴走を続けていきます。

プロセスからデザインし、共創する

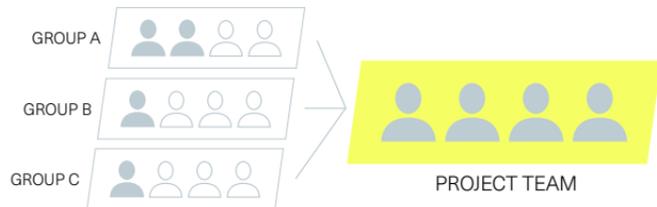
プロジェクトの進め方

クライアントへのヒアリングに始まり、プロジェクトの方針定義、情報収集・分析、体験設計、制作、検証・改善まで、すべてをデザインの対象として、常に最善のプロセスをチーム全員で考えながらプロジェクトを進めています。



プロジェクトチームのあり方

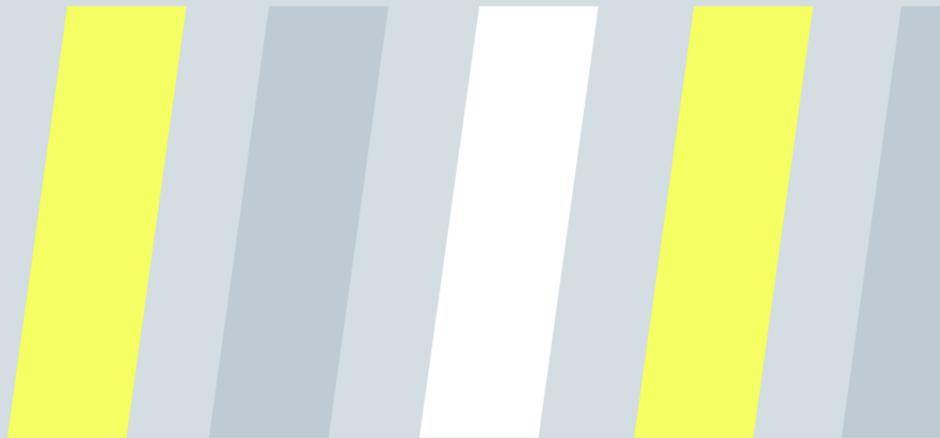
所属するグループを横断して、プロジェクトごとにチームをつくり、各メンバーがもつ専門性や技術を掛け合わせて、最適なソリューションを提供しています。



OUR WORKS

伴走するデザイン

私たちは、クライアントの挑戦に寄り添います。
クライアントや、その事業に関わる多様なユーザーと、
共に考え、共につくることで、事業に、組織に、社会に、
新しい価値や可能性を見出せると考えています。



企画段階から継続的な 事業成長へ サービスデザイン による伴走支援

BIPROGY
次世代キャッシュレス体験を創造する
「doreca®」サービスデザイン



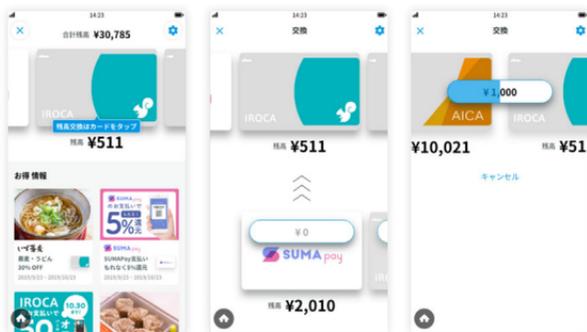
2019年のフェーズで完成したCIS（コンセプトインプレッションシート＝サービス概要を表現した仮想パンフレット）

CLIENT：企業

SOLUTION：事業開発支援 ブランディング支援
コンテンツ戦略支援 クリエイティブ開発

OUTPUT：アプリケーション SP ツール

BIPROGY 株式会社様（旧名 日本ユニシス株式会社）が展開する、デジタルマネー基盤「doreca®」のサービスデザイン、およびプロモーションの支援を行いました。企画段階から4年にわたって断続的に伴走し、体験設計、ブランド構築、プロモーションプランニングなど、幅広い分野で支援を続けています。



あるデジタルマネーから別のデジタルマネーへと残高を交換している画面



doreca®のネーミングとロゴマーク・ロゴタイプ

地域の魅力を届け、 縁を育てる

三好市役所
縁づくりプロジェクト



新しく立ち上げたメディアサイト「たちばなし」



手軽な B5 サイズでウェブサイトと同コンセプトの冊子

CLIENT: 行政

SOLUTION: ブランディング支援 デジタルマーケティング支援
コンテンツ戦略支援 クリエイティブ開発

OUTPUT: ウェブサイト SP ツール イベント

都市部の生活者と、徳島県三好市との縁（ゆかり）づくりを目指し、市役所職員・地元住民とのワークショップを通じてコミュニケーション戦略を立て、新たなウェブサイトやパンフレットの企画・制作、イベントの実施等を行いました。



イベント『東京三好 地域つながる！つまみ食いナイト』

学ぶ意欲に寄り添い 能動的な行動に つなげる総合的な プロモーション戦略

放送大学学園
入学生募集のプロモーション戦略策定/
クリエイティブ開発



(4月生募集プロモーション) B0横ポスター



(4月生募集プロモーション)
全国58局で放映されたTVCM

CLIENT : 大学

SOLUTION : ブランディング支援 デジタルマーケティング支援
コンテンツ戦略支援 クリエイティブ開発

OUTPUT : SP ツール 映像

テレビ (BS 放送)、ラジオ、インターネットなど多様なメディアで毎学期約 300 科目の授業を受講できる放送大学 (文部科学省・総務省所管 / 国設の私立大学)。2022 年度 4 月生、2022 年度 10 月生の入学生募集プロモーションの企画とクリエイティブ開発を行いました。コンセプトは広告全体のプロモーション戦略策定および、TVCM や交通広告、駅デジタルサイネージ、トレインチャンネルのクリエイティブディレクションとアートディレクションを担当しています。



(10月生募集プロモーション) B2 縦ポスター



(10月生募集プロモーション) ウェブページ



(10月生募集プロモーション) コンセプトムービー「学びたい大人たちへ」

CULTURE

社員一人ひとりの中にある デザインをひらく

デザインは「人」が行うものです。

一人ひとりの仕事の広がりや成長によって、
コンセプトのデザインは紡がれています。

従来の慣習にとらわれることなく、
自分自身をアップデートすることができます。

特定の役割や分野に縛られるのではなく、

さまざまなことに挑戦し成長し続けることができる。

やりたいことややるべきと思ったことに前向きに対峙できる。

そのための働き方や組織のあり方を、常に考え続けています。

| LEARNING |

学びをひらく

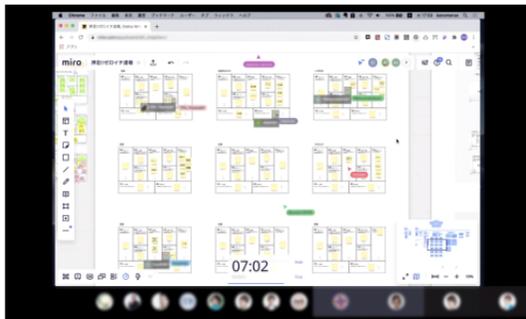
デザインでできること、求められることは広がり続けています。
共に学び、知を共有し合うことで、デザイナー自身の可能性をひらいています。

公式の教育プログラム



社員が互いに学び合い、新しい視点を獲得するための社内研修制度、コンセントデザインスクール。社員自らが講師となってナレッジを共有したり、外部の講師を招いたりして、知を高め合います。

社員発の勉強会・共有会



公式の研修制度のほかに、社員自らが主体的に学びや経験を共有し合う文化があります。毎週のように社員同士の勉強会・共有会がオンラインでもオフラインでも開催されています。

国内外のカンファレンス等への参加



個々の学びを支援するため、業界の最新動向や専門分野を探究する機会として、国内外のカンファレンス・セミナーへの参加を推奨しています。仕事に関連する場合の参加費は全て会社が負担します。

| KNOWLEDGE SHARE |

ナレッジをひらく

社内で培われたナレッジは、広く社会にひらかれるべきと考えています。
そしてその取り組みは、社員の挑戦や成長の機会にもつながっています。

各種メディアでの執筆・登壇機会



自社コンテンツ「ひらくデザイン」では、社員が執筆者となり自らの経験やナレッジを社会にひらいています。また、外部メディアへの寄稿・登壇など、社員個人が情報発信する機会を大切にしています。

オンラインスクールの定期開催



社内研修制度として実施しているコンセントデザインスクールは、一般の方向けのプログラムとしても企画して開催しています。誰もがデザインを身につけられるように、社員が講師となりコンセントの「現場の知」を伝えています。

ナレッジをひらく書籍の執筆・監修



コンセントのナレッジは書籍としても外にひらかれています。社員自らが執筆したり、監修したりした書籍は、多くの読者の知となって世の中に影響を与えています。

| GROWTH |

成長をひらく

成長は一人ひとりの取り組みだけでなく、周囲と関わる中で促進されていきます。コンセントは個々人の意欲ややりたいことを、仕組みとして後押しします。

オンボーディング制度

自律的な活動や成長の基盤づくりのため、メンター・チューター制度をはじめ、配属部署や人事などさまざまな観点から新入社員の活動をサポートし、入社後の会社への理解や周囲との関係構築を支援しています。

メンター・チューター制度

新入社員一人ひとりに、日常の困りごとなどの相談や社内での人のつながりを広げる支援をするメンターと、主に業務における質問や相談に応えるチューターが一人ずつつき、会社生活に伴走します。

新卒研修

入社後3ヶ月間の新卒研修は、実際のプロジェクトを想定し、現場の第一線で業務を推進する社員自らプログラムを企画し講師を務めます。また、会社への理解やビジネス基礎、仕事に臨む姿勢なども学びます。

ひらくチャレンジ

責任者としてプロジェクトを推進する経験は、デザイン業務での成長の糧になると考えています。上長や会社のサポートのもと、若手社員がプロジェクト責任者として完遂する経験を仕組みとして整えています。

/ COMMUNITY /

組織をひらく

組織とは、多様な人が知を掛け合わせて共に活動する集合体です。
個々の多様性を尊重しながら、一体となり前進していける環境を模索し続けます。

デザインされた全社会議・イベント



月に一度、全社員が参加するオンライン会議を実施しています。その他、全社員が一堂に会して情報を伝達したり交流したりする機会を設計し、会社や個々人の考えを共有し合います。

業務を超えたコミュニケーション



チームで働くコンセントでは、業務外のコミュニケーションも大切にしています。同好者でつくる部活動や、育児について相談し合えるオンライングループなど、さまざまな機会を会社が支援します。

多様な働き方を支える諸制度



遠方地勤務や副業、産休・育休に関する制度など、従業員一人ひとりの働きやすさや意向を尊重しながら、ますます多様化する働き方の新たな可能性を模索し続けています。

/ FUTURE /

さらに“デザインでひらく、 デザインをひらく”ために

私たちは、目指す姿に共感し、共に未来を創造してくれる仲間を常に求めています。

さまざまなバックグラウンドや強みをもったメンバーが、

互いの専門性や知見を生かし共創することで生まれる多様さこそ、

デザインの技術や品質の向上、可能性の拡大につながっていくと考えています。

ご自身の強みや、やりたいことをぜひ教えてください。

| INFORMATION |

CONCENT

本社所在地：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-20-6 第 21 荒井ビル

その他拠点：amu / 信金オフィス / 沖縄オフィス

従業員数：240 名 (2023 年 2 月 1 日時点)

創業：1971 年 (昭和 46 年)

代表：取締役会長 上原 哲郎 / 取締役社長 長谷川 敦士

関連会社：株式会社 AZ ホールディングス / 株式会社ビー・エヌ・エヌ /
株式会社フィルムアート社 / 株式会社 PIVOT /
株式会社シックススタント / 株式会社一實堂

